

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国（以下、「バングラデシュ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：チッタゴン県，コックスバザール県，バンドルボン県（詳細は協力準備調査にて決定。）
- (3) 案件名：南部チッタゴン地域開発計画（Southern Chattogram Regional Development Project）
- (4) 計画の要約：

本計画は、南部チッタゴン地域において、公共インフラの整備等を行うことにより、地域住民の利便性、生活の質向上を図り、もって対象地域の経済成長及び格差是正に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

伝統的な親日国であるバングラデシュは、民主主義の定着に努める穏健なイスラムの民主主義国であり、近年 8%程度の堅調な経済成長を遂げており、進出する日本企業数も増加している。他方、インフラの未整備や社会開発の後れといった課題を抱えており、同国の社会・経済の発展及び安定につながる本計画は、本邦企業の活動促進や地域の平和と安定にとって重要となっている。本計画の対象である南部チッタゴン地域は、日バングラデシュ首脳間で合意した「ベンガル湾産業成長地帯」（The Bay of Bengal Industrial Growth Belt : BIG-B）構想における両国の協力の重要地域である。また、我が国は、2017 年のミャンマー・ラカイン州からの 70 万人を超える避難民の急激な流入の結果、経済的及び社会的な負担が増加している地域住民の負担軽減のためのバングラデシュ政府の取組を支援する旨ハイレベルで表明しており、この観点からも本計画は高い外交的意義を有している。

- (2) 当該国における地方開発セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

バングラデシュは、2018/19 年度の実質 GDP 成長率が 7.9%に達し、2000 年に 48.9%であった貧困率は 2016 年には 24.3%まで減少している。しかし、順調な経済成長を遂げる都市部（貧困率：ダッカ県 16%）に比べ、農村部（貧困率：対象地域 3 県平均約 30%）の貧困割合は依然として高く（世界銀行、2016 年）、本計画の対象地である南部チッタゴン地域を含め、地方開発は同国政府の重要な政策課題となっている。

現在、南部チッタゴン地域では、総合開発が計画されており、BIG-B の下、我が国も同開発に協力している。同開発の拠点であるコックスバザール県は将来的に同国の成長を牽引する地方都市となることが期待される一方、コックスバザール県及び周辺地域であるチッタゴン県、バンドルボン県は、開発に伴い、労働者が 2026 年までに約 4 万人、2041 年までに約 11 万人流入することが予測されているなど、急激な人口増加が見込まれている（JICA、2019 年）。特にコックスバザール県は、2017 年のミャンマー・ラカイン州からの 70 万人を超える避難民の急激な流入により、飲料水、森林、農地等の地域資源の不足及び地域住民の収入機会の減少・賃金の低下等の問題が既に顕在化している（国連、2019 年）。今後、これら地域では、更なる人口増加により、通行車両の増加による道路状態の悪化や

交通渋滞、水供給、医療・教育設備の不足や廃棄物の増加による住民への社会サービス低下等、問題が深刻化する可能性が高い。

同国の「第 7 次五ヵ年計画」（2016/17～2020/21 年度）では、貧困層が更に裨益するための包括的成長戦略を掲げており、都市及び地方自治体の機能強化を通じた多様なサブセクターを含む地域開発や低所得地域の段階的な向上等を目標として挙げている。

本計画は、南部チッタゴン地域の総合開発に伴う人口増やミャンマー・ラカイン州からの避難民流入により影響を受ける地域住民に対し、生活の質向上等に資する公共インフラを整備するものであり、同国の開発政策における優先度の高い事業として位置付けられる。また、本計画は、公共インフラの整備を行うことで地域住民の生活環境改善を図るものであり、SDGs ゴール 1（貧困撲滅）、8（経済成長、雇用）、9（インフラ構築）、10（格差是正）及び 11（都市開発）に貢献するものであり、実施の意義は高い。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：以下ア）～カ）のとおり。本計画のサブ・プロジェクトは、実施段階において、ア）～オ）のうちニーズの高いものにつき、地方行政・農村開発・協同組合省傘下の地方行政技術局（Local Government Engineering Department : LGED）が中央政府及び対象都市・地方自治体との協議を踏まえ作成するロングリストより、上位開発計画との整合性、事業目的、緊急性・必要性、経済便益、実現可能性等を総合的に勘案し選定する予定。

ア）道路整備（国内競争入札）、イ）排水・給水施設（国内競争入札）、

ウ）農業関連施設（国内競争入札）、エ）廃棄物管理施設（国内競争入札）、

オ）その他公共施設（学校、病院、公営住宅等）（国内競争入札）

カ）コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、組織強化等）（ショート・リスト方式）

② 期待される開発効果：チッタゴン管区南部の公共インフラ整備により、地域住民（上記 3 県総人口約 178 万人（世銀銀行、2016 年））の利便性及び生活の質改善が進み、対象地域の経済的成長及び格差是正への貢献が期待される。

③ 借入人：バングラデシュ政府

④ 計画実施機関／実施体制：地方行政技術局（LGED）

⑤ 運営／維持管理体制：本計画で整備されるインフラは、LGED 及び支援対象の地方自治体により運営／維持管理が行われる見込み。

(2) その他特記事項

① 環境社会配慮カテゴリー分類： B

② ジェンダー分類は：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

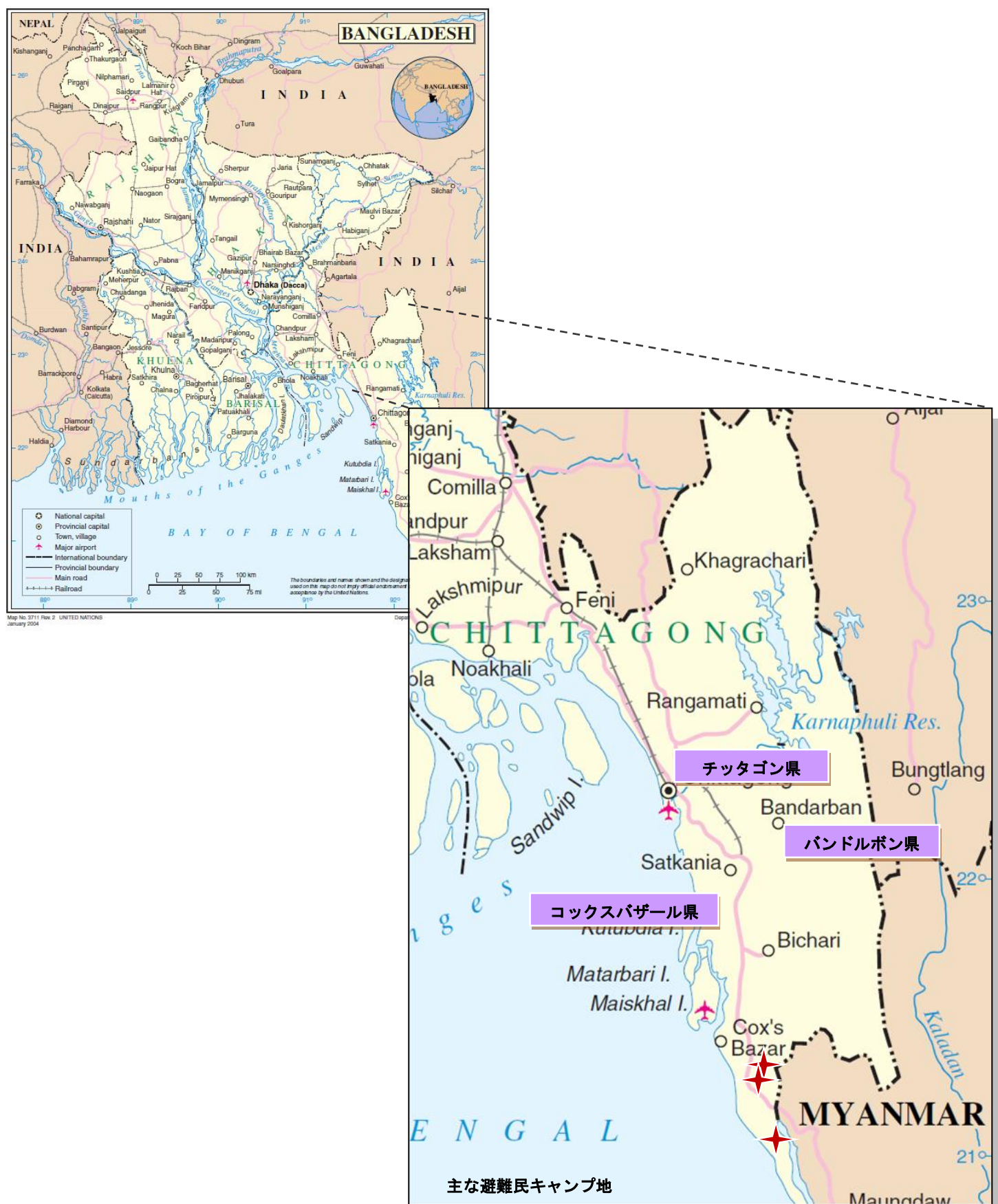
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

インドネシア向け円借款「地方インフラ整備計画（Ⅲ）」（評価年度：2007 年）の事後評価結果等から、小規模分散型の案件では、体系的なマネジメントシステムの構築とその適切な運用が重要であり、特にフィールドレベルから中央への階層的な責任分担関係の明確化や、各関係機関の調整が重要であるとの教訓を得ている。上記教訓を踏まえ、本計画では対象都市の開発計画等の上位計画から個別事業の F/S、予算承認・執行、事業実施管理

の各段階における関係機関の役割と責任を明確にし，LGED 本部内において事業実施責任を統括するプロジェクト管理本部を設置するとともに，各対象地域においてプロジェクト実施ユニットを設立する予定。さらに，LGED は各セクターの横断的事項に係る協議や事業全体の進捗管理及びモニタリングを行う予定。

以 上

南部チッタゴン地域開発計画 地図



出典：国際連合（<https://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/banglade.pdf>）